

平成19年度 事務事業評価表		担当	市民病院 事務局			内線等	95 -1224
事務事業名	病院建物等維持管理事業			事業コード	4 . 維持管理事業		
根拠法令等	地方公営企業法			A 法令			

総合計画での位置付け

基本目標	3 . 健康で安心して暮らせるまちづくり	施策名	医療
------	----------------------	-----	----

事務事業の内容

対象（受益者）	患者及び市民のために
手 段	病院建物等を適正かつ円滑に維持管理して
想定する成果	経済的で快適な環境の中で医療サービスを提供できる。

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
維持管理委託料	184,896千円	172,128千円	176,330千円
維持管理内容	建築設備等の運転管理及び空調・給排水設備、消防設備・昇降機・搬送機・医療ガス・L P G設備・医療用水製造設備・厨房設備・通信情報設備・電気設備・ボイラー圧力容器他の保守点検並びに各種環境測定業務		

成果指標

成果指標名	業務に支障が生じる重大故障発生件数	事業費の伸び率
成果指標の説明	施設維持管理の不備による原因で医療を中断させないこと	各年度の委託料 / 平成18年度委託料 × 100

事業の進捗状況 (病院事業 会計) (単位：千円)

		平成18年度決算（実績）				平成19年度決算（実績）				平成20年度予算（計画）			
成果指標		0件				0件				0件			
成果指標		100.0%				93.1%				95.4%			
事業費	事業費	184,896				172,128				176,330			
	人件費	3,114				3,124				3,138			
	(人数)	正規	0.4	非常勤		正規	0.4	非常勤		正規	0.4	非常勤	
	合計	188,010				175,252				179,468			
財源内訳	国												
	県												
	市債												
	その他												
	一般財源	188,010				175,252				179,468			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明（問題点）
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	3	3	3	3	適正な管理ができています。
経済効率性	2	2	3	2	コージェネの使用時間の調整や空調機器の管理を適切に行い、エネルギーコストの抑制が図れている。ただし、燃料価格の高騰がかなりの影響を与えている。
事務効率性	2	2	2	2	分離発注へ移行したことにより、個々の業務についての把握はしやすくなっていると思われるが、契約、支払事務においては事務量の増加となっている。
必要性	3	3	3	3	医療の場としての適切な環境を保全するために必要である。
小計	10	10	11	10	
施策への貢献度	3	-	3	-	病院を機能させるための基礎的部分を保全するためのものであり、その貢献度は高い。
合計	13	10	14	10	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	B	A	B	医療の場としての適切な環境を保全するためには不可欠である。
------	---	---	---	---	-------------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回（H16評価時）「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回（H16評価時に）記載した「今後改善すべき点」
現在一括委託しているが経費削減を考えるならば分離発注を取り入れたほうが効果がある。委託内容はかなり広範囲に及んでいるため、中には受託者は単なる窓口的な業務のものもある。一般的に下請負に出せば経費が掛かるため直接発注が好ましい。また委託内容の把握も直接発注のほうが一括発注よりも把握しやすく適切な指導もできる。したがって分離発注可能なものは次年度から実施すべきと考える。
上記改善点の実施状況
分離発注可能なものについては、既に分離発注をし委託料の経費削減にも繋がっている。

今後さらに改善すべき点

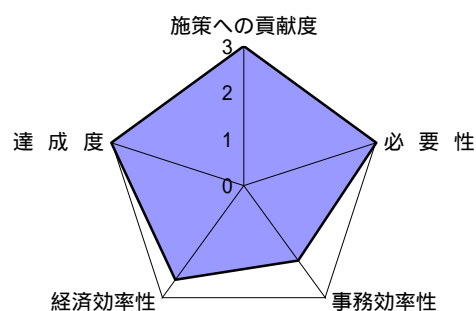
分離発注は一定の効果をもたらしているが、事務の効率の面からは、逆効果の部分も見受けられる。更なる総合的な検討が必要。

平成21年度予算に反映する項目

今後の方向性

検討中

内部管理事務事業、義務的事業は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。



課内評価と部長評価の平均点

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】